

# 第70期中間報告書

(平成28年4月1日から)  
(平成28年9月30日まで)



証券コード 8152

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第70期中間期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当中間期におきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱の問題などから世界経済の不確実性が高まり、これらが国内経済にも波及して年初からの円高・株安が進行し、国内経済の減速感も強まる厳しい状況となりました。

とりわけ、当社グループの特長ある主要な製商品が深く関わるスマートフォン関連業界では、前年同期に見られた活況が当中間期では大きく後退したため、当社グループの業績に大きな影響を与えました。

その結果、当中間期の当社グループの業績は、前年同期のレベルをかなり下回るものとなりましたが、全社を挙げて取り組んでいる製造コストの削減やグループ全体を俯瞰した業務効率の改善が順調に進展し、さらに海外市場での営業活動も促進されたことで、利益面での下支えをしました。

当社グループは、引き続き特長ある独自の製商品やサービスに磨きをかけ、新たな市場にも目を向けながら、顧客が抱える課題解決への当社グループの役割を深めつつ、当期期末での復配を目指して努力を重ねてまいります。

株主の皆様には、当社グループのこうした取り組みへのご理解をいただき、引き続き相変らぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長

曾谷 太

## 営業の概況

### 当中間期の概況

(当第2四半期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策などで雇用や所得環境の改善は進んではきたものの、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱の問題など、グローバル経済への不確実性の高まりから、国内では円高の進行などにより企業業績が下押しされ、わが国経済の先行きは不透明感が強まる厳しい状況となりました。

こうした状況下で当社グループは、引き続き当社グループの特長を生かした事業経営とスピーディーな経営判断を心がけ、国内市場の新たな開拓はもとより、中国や東南アジアの新興市場、更には堅調な景気を維持する米国やその周辺市場も取り入れたグローバルな視点で、独自の製商品の拡販を主体としたきめ細かな営業活動に注力するとともに、物流インフラの整備や業務効率の更なる改善にも努めてまいりました。そうした取り組みにより、海外での業績は厳しいながらも全体として堅調な状況を維持しましたが、国内での業績は国内経済の停滞や海外新興国経済の減速などが複合的に影響して厳しい状況が続きました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が105億2千4百万円（前年同四半期比16.6%減）、営業利益が2億8千1百万円（前年同四半期比45.7%減）、経常利益が2億6百万円（前年同四半期比58.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億2百万円（前年同四半期比77.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [高機能材料事業]

スマートフォンなどの電子機器業界向け関連製商品の販売では、前年同四半期にみられた関係業界の活況が当四半期では沈静化して低調に推移したため、関係するコーティング製品や電子材料の販売が大きく減少しました。また、自動車部品業界向け関連製商品の販売においても、国内での自動車生産が低迷したことや、円高の進行などで海外市場での業況が下押しされたため、高機能樹脂製品の販売も減少しました。その結果、当事業全体の売上高は80億2百万円（前年同四半期比14.7%減）、営業利益は3億5千1百万円（前年同四半期比39.5%減）となりました。

主な製商品群の概況は次のとおりであります。

#### (コーティング製品)

スマートフォンなどの電子部品製造用関連製品の販売が、活況を呈した前年同四半期の状況から一転して大きく落ち込み、31.1%の減収となりました。

#### (高機能樹脂製品)

主体となる自動車部品業界向け販売が、国内市場の低迷や円高の影響などにより海外市場の業況が低迷したため、4.5%の減収となりました。

#### (電子材料)

スマートフォン向け回路基板材料の販売が大きく落ち込み、また重電向け絶縁材料の販売も低調に推移したため、19.4%の減収となりました。

### (機能性樹脂)

回路基板向け熱硬化性樹脂や自動車向け熱可塑性樹脂は低迷しましたが、主要な樹脂用添加剤が仕入先の生産終了で一時的増販となり、3.3%の増収となりました。

### [環境材料事業]

主要顧客の製紙業界では、今年に入ってから円高基調が輸入原燃料の調達面では追い風となっているものの、紙の国内需要が漸減傾向にあるなど、全体的には厳しい環境にさらされています。そうした状況下で、当該業界に対する当社グループの営業活動では、競合他社との競争が依然として激しく、かかる影響を受けて関係製商品の販売は低迷しました。更に、当事業セグメントの主要な商品アイテムである紙塗工用バインダーでは、仕入先メーカーの国内生産工場の統合などを背景に、一部地域の主要な販売先を失注したため、バインダーの販売が当初の予想以上に大きく減少しました。その結果、当事業全体の売上高は20億4千万円（前年同四半期比20.9%減）となり、営業利益は1千8百万円（前年同四半期比29.4%減）となりました。

主な製商品群の概況は次のとおりであります。

### (ファインケミカルズ)

当社の特長ある製紙ケミカルズ製品への需要は底堅く推移したものの、競合他社との競争激化の影響で販売が低迷し、4.8%の減収となりました。

(製紙用化学品)

一部の製紙関連ケミカルズの販売は増加しましたが、紙塗工用バイ  
ンダーの販売が予想以上に大きく落ち込んだため、25.7%の減収とな  
りました。

[その他の事業]

その他の事業の主体をなす食品材料では、当社グループが扱う天然の  
食品素材の特長を生かした販売政策に沿って、食品市場への積極的な拡  
販を行うとともに、新たな市場の開拓などにも努めています。食品市場  
への販売では、消費税率引き上げ後の節約志向などの影響で関係業界の  
需要は依然として盛り上がりを欠いており、そうした影響で当社グルー  
プの販売も低迷しました。加えて、特に乾燥野菜の販売では、前年同四  
半期において販売増加の特殊要因となった米国港湾ストの影響が沈静化  
したことや、商流変更による主要販売先の一部失注なども重なって、乾  
燥野菜の販売が前年同四半期比で大きく減少しました。その結果、当事  
業全体の売上高は4億8千1百万円（前年同四半期比26.9%減）となり  
ましたが、営業利益は業務効率の改善などで6千6百万円（前年同四半  
期比15.7%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜り  
ますようお願い申し上げます。

## 会社概要 (平成28年9月30日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	昭和23年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式総数	19,587,349株
従業員	306名 (連結 411名)
営業内容	当社グループは、製造販売と仕入販売を主たる業務としており、製造販売は、コーティング製品・高機能樹脂製品・ファインケミカルズ・その他を、また仕入販売は、電子材料・機能性樹脂・製紙用化学品・その他を対象としております。

役員	代表取締役社長	曾谷太
	取締役	鶴田和久
	取締役	川野崇之
	取締役	三村摂
	取締役	坂本昇之
	取締役	春日孝之
	常勤監査役	川島征夫
	監査役	穴戸金二郎
	監査役	亀山晴信

- (注) 1. 取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役穴戸金二郎氏及び監査役亀山晴信氏は、社外監査役であります。

## 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成28年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成28年3月31日)
<b>資 産 の 部</b>		
<b>流 動 資 産</b>		
現金及び預金	3,199,336	3,729,783
受取手形及び売掛金	5,189,260	4,998,701
電子記録債権	1,153,929	1,215,600
たな卸資産	2,005,277	2,115,878
その他	282,351	250,839
貸倒引当金	△ 60	△ 60
<b>流動資産合計</b>	<b>11,830,094</b>	<b>12,310,743</b>
<b>固 定 資 産</b>		
有形固定資産	2,729,908	2,929,547
無形固定資産	128,133	166,645
投資その他の資産		
投資有価証券	1,505,477	1,447,748
退職給付に係る資産	99,361	317
その他	1,880,651	1,865,400
貸倒引当金	△ 482,001	△ 482,023
投資その他の資産合計	3,003,489	2,831,443
<b>固定資産合計</b>	<b>5,861,531</b>	<b>5,927,637</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>17,691,626</b>	<b>18,238,380</b>

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成28年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,992,147	2,963,816
1年内返済予定の長期借入金	—	3,900,000
未払法人税等	40,479	31,732
賞与引当金	139,604	152,490
その他	513,487	486,466
流動負債合計	3,685,718	7,534,506
固定負債		
長期借入金	3,500,000	—
資産除去債務	65,748	65,479
その他	130,197	96,216
固定負債合計	3,695,946	161,696
負債合計	7,381,665	7,696,202
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,886,268
利益剰余金	△ 93,152	△ 707,637
自己株式	△ 49,641	△ 49,215
株主資本合計	9,446,369	9,244,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,622	292,042
繰延ヘッジ損益	△ 4,191	△ 1,484
為替換算調整勘定	625,285	1,106,780
退職給付に係る調整累計額	△ 88,124	△ 99,800
その他の包括利益累計額合計	863,591	1,297,538
純資産合計	10,309,961	10,542,177
負債純資産合計	17,691,626	18,238,380

## 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,524,056	12,617,877
売上原価	8,826,040	10,623,686
売上総利益	1,698,015	1,994,191
販売費及び一般管理費	1,416,340	1,475,154
営業利益	281,675	519,036
営業外収益		
受取利息	1,952	5,682
受取配当金	20,146	21,944
事業撤退損失引当金戻入益	—	14,703
その他	13,182	19,268
営業外収益合計	35,281	61,598
営業外費用		
支払利息	20,990	40,375
債権売却損	1,530	1,737
為替差損	83,256	333
清算関連費用	—	36,119
その他	4,501	6,930
営業外費用合計	110,279	85,497
経常利益	206,676	495,137
特別利益		
固定資産売却益	—	381,940
特別利益合計	—	381,940
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	1,200	—
特別損失合計	1,200	—
税金等調整前四半期純利益	205,476	877,077
法人税、住民税及び事業税	23,523	25,541
法人税等調整額	△ 20,202	△ 46,432
法人税等合計	3,320	△ 20,891
四半期純利益	202,156	897,969
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,156	897,969

## 株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.somar.co.jp">http://www.somar.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。